



Cisco UCS Central、Release 1.0 リリース ノート

初版発行日：2012 年 11 月 20 日
最終更新日：2012 年 11 月 20 日
OL-28314-01-J

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報
につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあ
り、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますこと
をご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サ
イトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊
社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、Cisco UCS Central ソフトウェア リリース 1.0 のシステム要件、新機能、イメ
ージバンドル情報、解決済みの不具合、既知の不具合および回避策を説明しています。このマニュアル
では、次の項目も含まれています。

- 技術マニュアルがパブリッシュされた後に使用可能になった、現在の情報

このリリース ノートは、ドキュメント ロード マップ
(<http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/b-series-doc>) で示す他のマニュアルとの補足として使用
します。

必ず Cisco.com の利用可能なその他の資料を参照して、Cisco UCS Central の最新の情報を取得してく
ださい。

内容

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- 「マニュアルの変更履歴」 (P.2)
- 「はじめに」 (P.2)
- 「リリース 1.0 の新しいソフトウェア機能」 (P.3)
- 「未解決の不具合」 (P.4)
- 「関連資料」 (P.5)

マニュアルの変更履歴

表 1 にマニュアルの変更履歴を示します。

表 1 オンライン変更履歴

Part Number	リビジョ ン	リリース	日付	説明
OL-25363-01	A0	1.0(1a)	12/11/20	Cisco UCS Central Release 1.0 のリリース ノートを作成

はじめに

UCS Central を使用することで、IT 管理者は、1 つのロケーションからの単一インターフェイスを介して個々の UCS Manager で管理される複数の UCS ドメインを管理できるようになります。UCS Central は UCS Manager と緊密に連携して動作し、複数の UCS インストール環境で、統合された管理機能を提供します。これは UCS Manager と同様のポリシー管理フレームワークを使用しますが、複数の UCS ドメイン全体に、より広いスコープでこれらのポリシーを提供します。また、ハードウェアおよびファームウェアのインベントリ、障害、ID プールなどのデータの統合が提供されます。この製品は、複数の UCS Manager と連携して動作する仮想マシンとして導入されます。UCS Central は複数の UCS ドメインに分散された UCS ファブリック インターコネクに統合された、数千の物理ブレードおよびラック サーバを管理します。UCS Central では、ユーザ アクセス用に直感的な Web ベース GUI とそれに付随する CLI が提供されています。また、UCS Manager にあるような XML API により、自動化およびより高レベルのシステム管理ツールとの統合機能も提供されています。

システム要件

ブラウザ ベースの Cisco UCS Central GUI にアクセスするには、ご使用のコンピュータが次の最小システム要件を満たすか、それ以上でなければなりません。

- Windows
 - IE (9 以上)
 - Firefox (15 以上)
 - Chrome (22 以上)
- Linux

- Firefox (15 以上)
- Chrome (22 以上)
- MacOS
 - Safari (6 以上)
 - Firefox (15 以上)
 - Chrome (22 以上)

Chrome ブラウザでは、バンドルされた Flash プレーヤーを削除してから Adobe Flash プレーヤーをインストールします。

リリースされた OVA は ESX 4.0u2、ESX 4.1u1、または ESX 5.0 で使用する必要があります。

UCS Central によって管理される Cisco UCS のインスタンスは、Cisco UCS ソフトウェア バージョン 2.1 以降を使用している必要があります。

リリース 1.0 の新しいソフトウェア機能

リリース 1.0 (1a) は、次をサポートしています。

- UCS ドメイン グループ
- 統合ダッシュボード
 - UCS ドメイン
 - ファブリック インターコネクト、シャーシ、IO モジュール、ブレードおよび統合ラック サーバ インベントリ
 - ドメイン レベルのサービス プロファイルとテンプレート
 - ファームウェア
 - 障害、監査、イベント ログ
 - FSM ステータス
- グローバル ID 管理
 - WWPN、WWNN、WWxN プール
 - IP プール
 - MAC プール
 - UUID 接尾辞プール
 - IQN プール
 - グローバル ID の使用のトラッキング
- 中央集中型のファームウェア管理
 - Cisco.com の自動ファームウェア ダウンロードおよびイメージ リポジトリ
 - メンテナンス ポリシーおよびスケジュール
 - ホスト ファームウェア パック、インフラストラクチャ ファームウェア パック、カタログ
- グローバルな動作ポリシー
 - DNS、タイムゾーン、Call Home、SNMP
 - HTTP、Telnet、Web セッション、CIM XML、管理インターフェイス モニタリング、SSH

- LDAP、TACACS、RADIUS、ロール、ロケール、トラストポイント、認証ドメイン
- 障害、コア エクスポート、Syslog
- 電力割り当て、PSU、SEL
- グローバル Backup/Export ポリシー
- UCS Manager ポリシーのグローバル化
- バックアップリポジトリと復元
- UCS Manager KVM と GUI の相互起動
- OVA、ISO、BIN 形式で複数のハイパーバイザをサポート (ESX、Hyper-V)

未解決の不具合

表 2 リリース 1.0(1a) の未解決の不具合

バグ ID	症状	回避策
CSCud25795	UCS Central で完全な復元を実行すると、後続の登録が完了しない場合があります。登録ステータスは「shared-secret mismatch」と表示され、動作は再試行されません。共有秘密が正しく入力されていても共有秘密の障害が発生する場合は、CA 証明書を受信しなかったことが原因である場合があります。	管理者は、共有秘密を再入力し、UCS Central での登録プロセスを再起動できません。復元後に httpd が起動したときに、取得証明書が再取得され、登録が続行されます。
CSCud26491	Hyper-V ホスト上に導入された UCS Central では、重大なディスク読み取り速度の障害が表示されます。	None. テストでは、Hyper-V のゲストで測定したディスク読み取り速度は、同じデータストアの ESX で動作しているゲストと比較して低速でした。通常、これによる機能上の影響は発生しませんでした。
CSCud20882	scp、sftp で、IP を使用した config-all インポートが失敗します。 UCS Central の DNS の設定が誤っているか、到達不可能である場合、ファイルのインポートによりタスクが失敗し、次のように表示されます。「End point timed out.Check for IP, password, space or access related issues.」	DNS 設定を修正または削除します
CSCub26954	UCS ドメインで定義されたメンテナンス ポリシーにより保留されている user-ack は UCS Central に表示されません。	UCS Central で保留されている user-ack を表示し、確認するには、UCS Central に定義されているスケジュールを使用します。UCS Central が所有するスケジュールを参照するように、メンテナンス ポリシーを変更します。

表 2 リリース 1.0(1a) の未解決の不具合 (続き)

バグ ID	症状	回避策
CSCuc98962	カスタム カラム値は一時停止ステート カラムでは変更されません。 これは、クエリーがすでに GUI フレームワークにキャッシュされている場合に見られます。	値をアップデートするには、ブラウザをリフレッシュします。
CSCtz35499	UCS Central の IP アドレスが変更されている場合、登録されている UCS ドメインがこの更新を受信しない場合があります。UCS ドメインは lost-visibility ステートになります。	UCS Central で UCS ドメインの登録を解除し、再登録します。
CSCuc94589	CLI を使用してメンテナンス ポリシーを作成するときに、レポート ポリシーの値を「Immediate」に設定すると、レポート ポリシーは保存されません。	メンテナンス ポリシーを作成してから、レポート ポリシーを「Immediate」に設定します。
CSCuc96920	NTP サーバを作成し、NTP サーバを保存する前に Call Home をイネーブルにした場合、NTP サーバは作成されません。	Call Home を編集または Call Home のプロパティに有効な値を入力する前に、NTP サーバまたはそれまでに変更されたポリシーを保存します。
CSCud21949	full-state インポートおよび erase samdb の実行後、[equipment] タブがロード中のままになります。	ブラウザのキャッシュをクリアします。
CSCud26193	[Tech Support Files] ページ ([Administration] > [Diagnostics] > [Tech Support Files]) の [Overall Status] 列が、tech-support 収集プロセスが完了しても [in-progress] から [available] に変更されません。	UCS Central GUI の別のページをクリックしてから、[Tech Support Files] ページに戻ります。
CSCud26790	スタティック IP が UCS ドメイン内の個々のサーバに割り当てられると、それが Cisco UCS Central の KVM コンソールのセクションに表示されません。	Cisco UCS Central から Cisco UCS Manager GUI を起動します。Cisco UCS Manager の起動ページで、Manager で [Launch KVM Manager] をクリックします。
CSCud27361	次の操作は、Cisco UCS Central GUI で使用できません。 <ul style="list-style-type: none">• ホスト名の変更• IP アドレスの変更• 共有秘密の変更	Cisco UCS Central CLI から、ホスト名、IP アドレスまたは共有秘密を変更できます。

関連資料

詳細については、次のリンクから関連資料にアクセスしてください。

- [『Cisco UCS Documentation Roadmap』](#)

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>